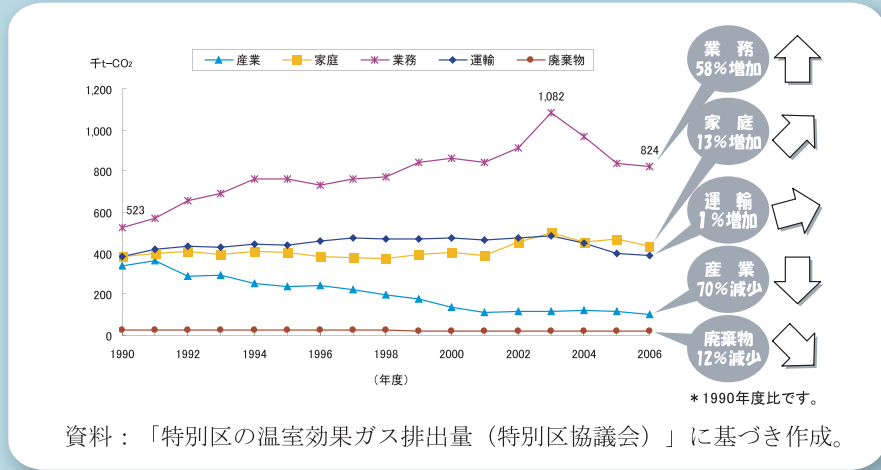


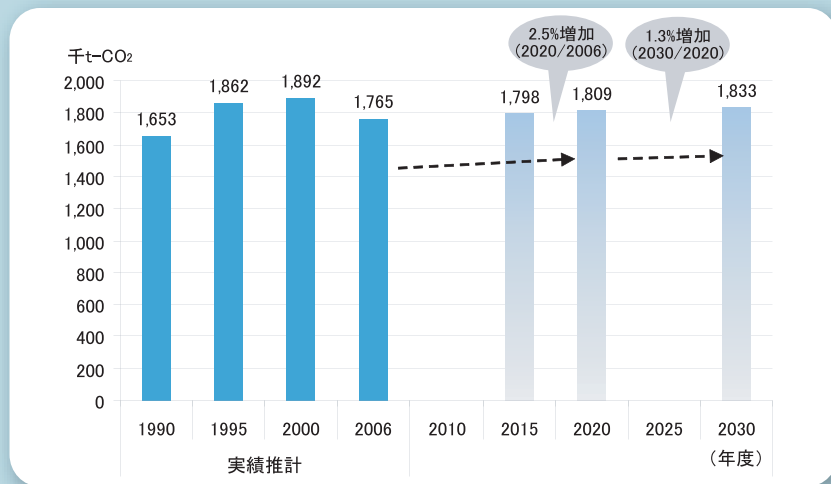
## 二酸化炭素排出の状況

品川区における二酸化炭素の排出状況は、2006年度で約177万トンとなっており、京都議定書に基づく基準年度（1990年度、約165万トン）に比べて6.8%増加しています。部門別に見ると、事務所ビルをはじめとする業務部門が最も多く、かつ、1990年度に対する増加率も最も大きくなっています。また、家庭部門（13%増加）や運輸部門（1%増加）においても1990年度と比較して増加の傾向にあります。



## 二酸化炭素排出の将来の予測

品川区における将来の二酸化炭素排出量（現状のまま新たに施策を追加しないことを前提として算定）は、2020年度に約181万トンになり、2006年度と比較すると2.5%の増加、1990年度に対しては9.4%の増加になると予測されます。その後も増加傾向が続きますが、増加幅はわずかであり、2030年度までの10年間で1.3%増の183万トンになると予測されます。部門ごとにみると、産業部門、運輸部門及び廃棄物部門では減少する一方で、家庭部門及び業務部門では引き続き増加が予測されます。



## 進行管理

計画の進行管理は、PDCAサイクルに基づき、取り組みの実施・評価・取り組み内容の見直しを継続的に行うことにより、実効性の確保に努めます。

発行元: 品川区都市環境事業部環境課 所在地: 〒140-8715 東京都品川区広町2-1-36  
電話: 03-5742-6949 FAX: 03-5742-6853

用紙製造・印刷などから排出されるCO<sub>2</sub>を森林吸収プロジェクトによってオフセットしています。

